

平成29年度 学校関係者評価及び改善策

( 中間・**最終** )

中学校区 校番 4 学校名 呉市立広中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	目標が一貫してシンプルで分かりやすく設定されており、全教職員が分かりやすい授業に取り組む意欲にあふれており、適切であると評価している。指標もチェック機能を兼ね備えており、具体的な指導に反映できるものと感じられる。
目標達成のための方策の適切さ	A	目標達成のための方策は学習規律と家庭学習の基礎的な面に主眼が置かれており、生徒にとっても具体性が盛り込まれ分かりやすく取り組める項目であるのではないかと評価している。特に学力向上に著しい結果が出ていることを、大変喜ばしく感じている。ベルスタートが定着し、授業を開始する姿勢が、学びの向上につながっている。教職員の努力の成果である。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	評価の達成値について各教科を数値化して表示し、それも前期・後期で設定されており適切である。「オール広中央中」で教員、生徒との一体感がもたらした成果であると思う。また、この学力向上の成果に甘んじず、謙虚にとらえている姿も評価したい。
今後の改善策(案)の適切さ	A	「広島版『学びの変革』アクションプラン」の全県展開を受けて先進校の事例の中で、広中央中の良さを大事にしなが見直しの必要な分野があれば実施してほしい。学習規律や家庭学習、部活動についても基本的なことを繰り返し、肯定感を大事にしなが改善策に生かしていただきたい。また、居場所がない生徒をしっかり見守っていただき、不登校生徒が少しでも減少することを願っている。
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年間、生徒の雰囲気落ち着いている様に見うけられる。強制的ではなく、説得力のある指導がなされている様子がうかがえる。</li> <li>・授業参観をさせてもらった際、分からないことがあっても遠慮なく手を挙げて質問する生徒の姿があった。そんな雰囲気が漂う授業が展開されていることが素晴らしい。子どもから大人への成長過程で時には難しいこともあるが、地域としても全力で応援していきたい。</li> </ul>

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<p>中期経営目標を設定した3年間で、本校は大きな変革を遂げた。その一つは生徒指導面での生徒の変容である。問題行動は、3年前の6分の1に減少した。もう一つは、教科学力の向上である。各種学力調査において、どの教科も県平均を上回る結果をもたらしている。教育実践を、結果につなげることが、保護者や地域の信頼につながる。</p> <p>次年度、本校は小中一貫教育研究指定の委嘱を受けるなど、新しいステージに入る。加えて、学校評価に係わる評価計画を刷新していく必要がある。</p> <p>より確かな学力向上のために、組織的な授業改善を進め、学校としての確かな方法論を確立していく必要がある。先進校の事例を参考にしながら、本校独自の主体的な学びを「オール広中央中」で創造していきたい。</p>
--------------------	--